

宮城 顛選集

MIYAGI SHIZUKA

全17卷



深い教学にもとづき

聞思の姿勢で貫かれた48年の足跡

刊行のことば

宮城顛先生は三年余にわたる療病生活のうち、二〇〇八年十一月二十一日浄土に還帰されました。その直後から選集刊行の声があり、驚くほどの早さでそれが実現したのは、ひとえに先生のご教化のすばらしさによるものであります。この選集は一九五七年、先生二十六歳のときの書き下ろし文「浩々洞」（金沢大学暁鳥敏賞受賞）に始まり、二〇〇五年、病床に就く五カ月ほどの前の講演「汝、起ちて更に衣服を整うべし」（宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌真宗本廟お待ち受け大会の記念講演）に至る四十八年間の講演等の

中から精選したものであります。

先生は日ごろから聞思とは、限りなくわが身に聞き直していくことだとおっしゃっていました。第七巻から十七巻までの聖典講義を「聞記」としたのは、そのご講義が深い教学に基づきながら常に聞思の姿勢で貫かれているからであります。

この稀有の書が、光となって世の闇を摂し尽くしていくことを願ってやみません。

二〇一〇年六月

宮城顛選集刊行会

推薦のことば

お念仏の真実を口授して下さった人

作家 高史明

「蟬・蝸・春秋を識らず、伊虫あに朱陽の節を知らんや」
『教行信証』の「信巻」に開示されているお言葉である。

宮城顛先生を思うとき、私は何時もこの言葉を思い起こす。難しい言葉である。最初に目にしたとき、読み飛ばしたものだ。当然のこと、お念仏の教えの根本に参入できなかった。宮城顛先生はその私の耳底に、優しく爽やかな声で教えを説き聞かせてくれたのであった。「蟬は春や秋を知らない。そうであれば、どうしてこの虫が夏を知りえよう」と。

いま思えば、私はお念仏の真実を前にして、夏を知らない蟬のようにその教えに思い悩んでいたのであった。広い市民会館の中央に独り立つ先生のお聞かせは、実に懇切であった。

「また何ぞ仮に念の頭数を知ることゝを須いんや。もし必ず知ることを須いば、また方便あり、必ず口授を須いよ」

宮城顛先生は、まさに私にお念仏の真実を口授して下さったのであった。『宮城顛選集』の刊行に際して先生の教えを改めて思い返し、合掌したい。

畏敬の友 宮城師の選集刊行を慶ぶ

元九州大谷短期大学長 桑門 豪

全巻内容・配本順

第1巻 論集

浩々洞／源信／曇鸞／無上の世界／宗教家とは何か／師子身中の虫／等活地獄考／「時機純熟」考／真実の教／建言我一心／日常性のなかで／その他

第一回配本

第2巻 講座集 I

真宗とは／『観無量寿経』序文に学ぶ／和讃に学ぶ

第二回配本

第3巻 講座集 II

親鸞の手紙

第三回配本

第4巻 講座集 III

真の仏弟子／『御文』私見／『御文』三通（末代無智・聖人一・流・白骨）／願心莊嚴の世界／今の世にあつて真宗とは

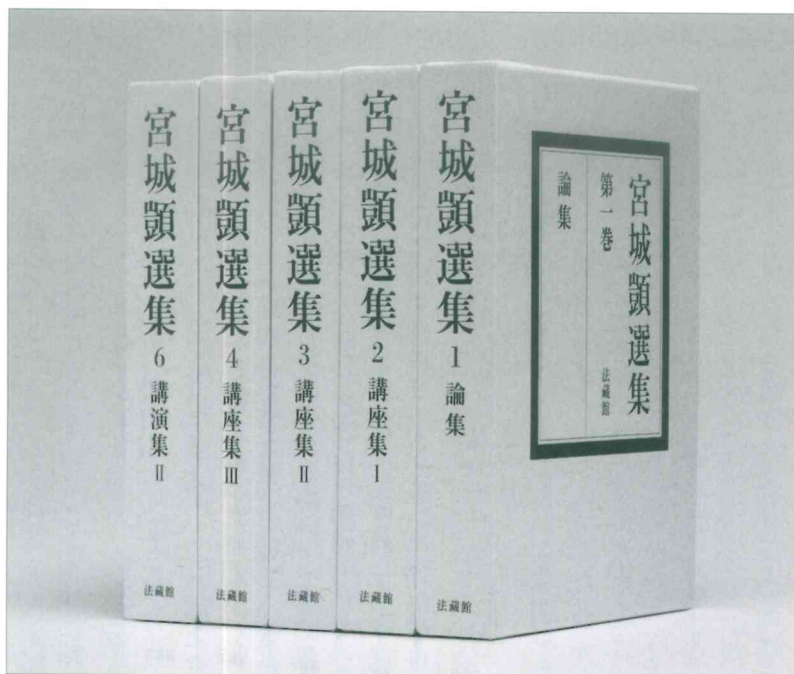
第二回配本

第5巻 講演集 I

第四回配本

好評刊行中

〈二〇一四年末完結予定〉



【特色】

- 二十六歳のときの書き下ろし論文「浩々洞」から、病床にふす直前の講演まで、半世紀におよぶ成果の集大成。
- 各年代に亘る多数の論文・講演等をテーマごとに巻編成。

- 各巻末に「あとがき」を付し、宮城顓先生にまつわる話などを紹介。

- 各巻に、先生の写真や揮毫を載せた口絵を付す。

【体裁】

A5判／上製クロス装貼函入／各巻平均四八〇頁

【価格】

各巻 **七、三五〇円**（表示価格は税込5%です）

- ① 978-4-8318-3420-1
- ② 3421-8 ③ 3422-5
- ④ 3423-2 ⑤ 3424-9
- ⑥ 3425-6 ⑦ 3426-3
- ⑧ 3427-0 ⑨ 3428-7
- ⑩ 3429-4 ⑪ 3430-0
- ⑫ 3431-7 ⑬ 3432-4
- ⑭ 3433-1 ⑮ 3434-8
- ⑯ 3435-5 ⑰ 3436-2



法藏館

〒六〇〇一八一五三 京都市下京区正面通鳥丸東入
 TEL 〇七五(三四三)五六五六 FAX 〇七五(三七一)〇四五八
 Homepage http://www.hozokan.co.jp e-mail info@hozokan.co.jp

2012034000

みやぎ しずか 宮城顓選集 全17巻

分売も可能です

(取扱書店印)

第〔 〕巻を〔 〕冊申し込めます

ご住所 〒

お名前

お電話

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通鳥丸東入
 TEL 075-343-5656 FAX 075-371-0458
 Homepage http://www.hozokan.co.jp
 e-mail info@hozokan.co.jp

申込書